

- 1 全身に張り巡らされ、中枢神経と各部を結ぶ感覚神経や運動神経のネットワーク全体を何という？
 ① 末梢神経 ② 交感神経 ③ 運動神経 ④ 中枢神経
- 2 哺乳類の肺の内部に無数に存在し、血液との間で酸素や二酸化炭素の受け渡しを行うための表面積を広げている小さな袋状の器官を何という？
 ① 気管支 ② 横隔膜 ③ 柔毛 ④ 肺胞
- 3 外界からの刺激を受け取る役割を持つ、目や耳のような器官を総称して何という？
 ① 効果器 ② 感覚器官 ③ 神経節 ④ 脳
- 4 植物の個体を支える役割をもち、動物にはない植物特有の固い構造を何という？
 ① 細胞膜 ② 核 ③ 細胞壁 ④ 液胞
- 5 脳とせきずいからなり、体の各部位へ指令を出す司令塔の役割をもつ神経を何という？
 ① 体性神経 ② 中枢神経 ③ 自律神経 ④ 末梢神経
- 6 中枢神経系の一部であり、筋肉の複雑な動きを調整したり、体の平衡を保ったりする役割を持つ器官は何という？
 ① 間脳 ② 中脳 ③ 小脳 ④ 大脳
- 7 小腸の壁の内側に無数に存在し、栄養分を効率よく吸収するために表面積を広げている突起を何という？
 ① 柔毛 ② リンパ管 ③ 微絨毛 ④ 毛細血管
- 8 植物の葉の細胞内に存在し、光エネルギーを利用して養分を作り出す緑色の粒を何という？
 ① 細胞壁 ② ミトコンドリア ③ 細胞核 ④ 葉緑体
- 9 酸素を発生させる実験において、触媒である二酸化マンガンを組み合わせて使われる液体を何という？
 ① 硫酸 ② 塩酸 ③ 水酸化ナトリウム水溶液 ④ 過酸化水素水
- 10 植物が光合成を行うことで、最初の養分として葉の中に作り出される多糖類を何という？
 ① 脂肪 ② デンプン ③ タンパク質 ④ アミノ酸
- 11 デンプンの存在を調べるために使用される、反応すると青紫色に変化する化学試薬を何という？
 ① ヨウ素液 ② エタノール ③ 酢酸オルセイン溶液 ④ ベネジクト液
- 12 感覚器官で受け取った情報を、脳やせきずいへ伝える神経を何という？
 ① 運動神経 ② 中枢神経 ③ 感覚神経 ④ 自律神経
- 13 気体である二酸化炭素を通すと、炭酸カルシウムが沈殿して白く濁る性質を持つ液体を何という？
 ① 塩化コバルト紙 ② 青色リトマス紙 ③ BTB溶液 ④ 石灰水
- 14 肝臓が血液中の有害な物質を、毒性の低い物質に変えて排出を助ける際、生成される最終的な排出物は何という？
 ① 胆汁 ② グリコーゲン ③ 尿素 ④ アンモニア
- 15 柔毛で吸収された脂肪酸やモノグリセリドが取り込まれる管を何という？
 ① リンパ管 ② 毛細血管 ③ 小腸壁 ④ 柔毛



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	脳と脊髄を幹とする神経線維が、体の隅々まで網の目のように分布しています。	1 末梢神経	☐
2	肺胞は直径0.1～0.2ミリ程度の小さな袋で、肺全体では数億個存在すると言われています。	4 肺胞	☐
3	この器官は光、音、におい、温度などの特定の刺激を感知する能力を持ちます。	2 感覚器官	☐
4	細胞壁はセルロースという物質からできており、植物細胞の外側を包み込むことで細胞を保護し、その形状を維持する役割を果たしています。	3 細胞壁	☐
5	中枢神経は、体全体を統括する脳やせき髄を指します。	2 中枢神経	☐
6	脳の後方下部に位置する「小脳」は、中枢神経系の一部です。	3 小脳	☐
7	小腸の内壁には、ひだ状の構造と、さらにそこから突き出た「柔毛」と呼ばれる多数の突起があります。	1 柔毛	☐
8	葉緑体は細胞質の中に含まれる緑色の小さな粒状の器官です。	4 葉緑体	☐
9	過酸化水素水（オキシドール）は通常、水と酸素に少しずつ分解されますが、二酸化マンガンという触媒を加えると、この反応が劇的に加速します。	4 過酸化水素水	☐
10	植物は光合成によってまず糖類を生成しますが、これをそのまま貯蔵すると浸透圧の影響で細胞に負担がかかるため、不溶性でコンパクトなデンプンに変換して葉や根、種子などに蓄えます。	2 デンプン	☐
11	ヨウ素液は、ヨウ素とヨウ化カリウムを溶かした水溶液です。	1 ヨウ素液	☐
12	この神経は、目や耳、鼻、皮膚などの各器官から受け取った刺激を電気信号として脳やせきずいといった神経中枢へ伝えます。	3 感覚神経	☐
13	石灰水は、水酸化カルシウムを水に溶かしたものです。	4 石灰水	☐
14	肝臓は、この有害なアンモニアを、毒性の低い「尿素」という物質へと変換します。	3 尿素	☐
15	消化された脂肪分は脂肪酸とモノグリセリドに分解されますが、これらは小腸の柔毛にある専用の管であるリンパ管へと吸収されます。	1 リンパ管	☐

言えなかった用語ノート